

胃瘻カテーテル交換後の簡便な胃内挿入確認方法

— 飲用茶を利用し在宅でも行える確認法 —



ふきあげ内科胃腸科クリニック
(愛知県名古屋市)

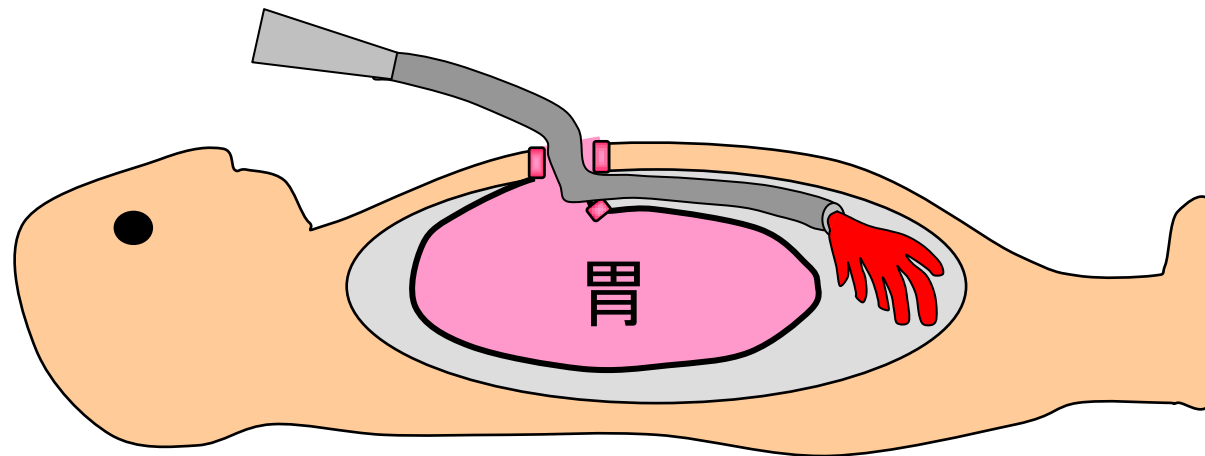
院長 蟹江治郎



カテーテル誤挿入

【カテーテル誤挿入とは】

カテーテル交換時に誤って瘻孔を破り、
その先端が胃に到達せず腹腔内へ誤挿入する偶発症



誤挿入に気づかずに経腸栄養剤の注入を行うと、**汎発性腹膜炎**の原因になる



カテーテル誤挿入による腹膜炎の予防

カテーテル交換後は必ず先端の確認を行う!!!

| | 確認の確実性 | | 医療機関での実施 | |
|---------|--------|-----|----------|-------|
| | 時に困難 | 確 実 | 必 須 | 必須でない |
| 送気音確認 | ● | | | ● |
| 胃内容物確認 | ● | | | ● |
| 色素液の利用 | | ● | | ● |
| レントゲン利用 | | ● | ● | |
| 内視鏡利用 | | ● | ● | |

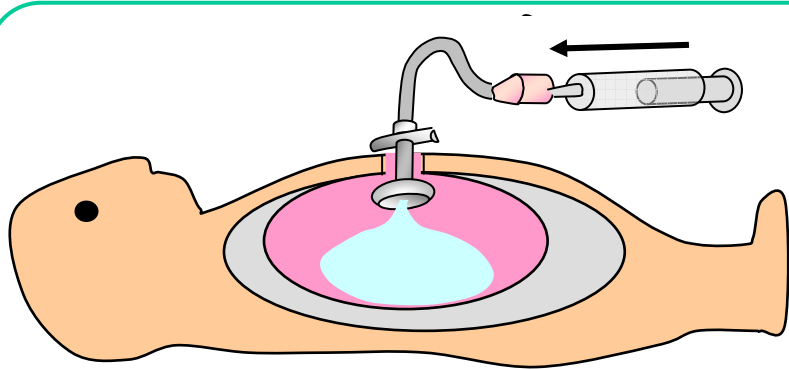
蟹江治郎 著:胃瘻PEGハンドブック. 医学書院, 東京. 2002, p60-63 より引用



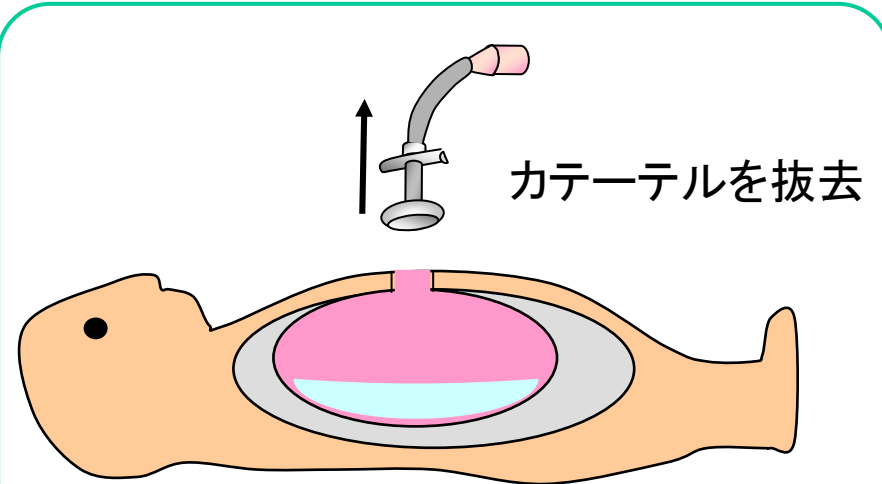
目的

胃瘻カテーテル交換時に発生する、
腹腔内誤挿入の有無を確認するための、
飲用茶を利用し、在宅でも簡便に
実施可能な確認法の報告。

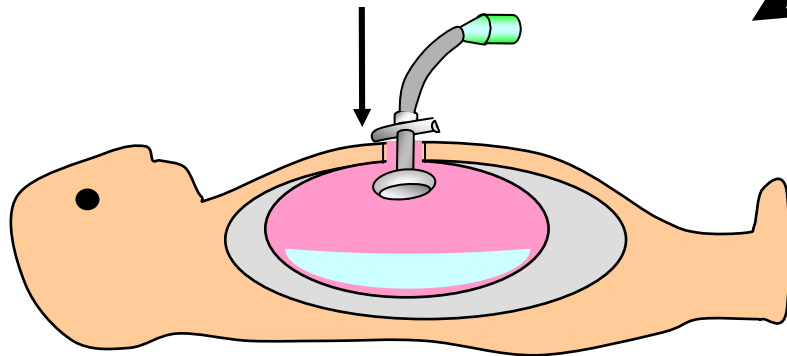
方法



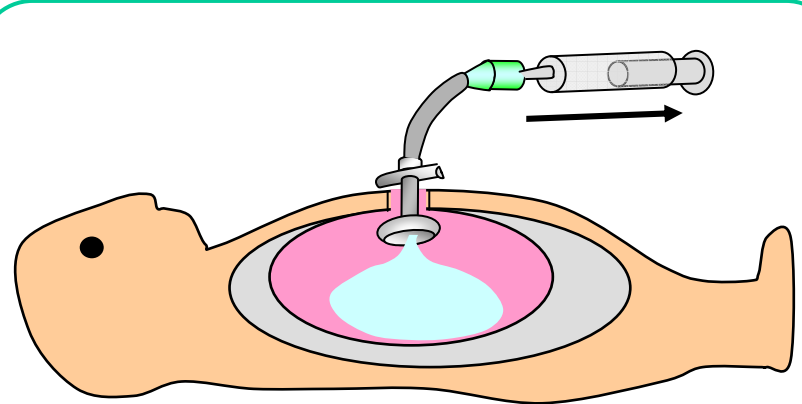
カテーテル交換前に
あらかじめ胃内へ飲用茶を注入



カテーテルを抜去



新規カテーテルを挿入



胃内容物を吸引し確認する



確認用の液体として 飲用茶を選択する理由

- 生体内に無い色素の液体であること
- 安全な食品であること
- 家庭内で常に容易に入手が可能なこと
- 安価であること

方法①:準備





方法②：飲用茶の吸引と注入





方法③:カテーテル交換





方法④：胃内容物の吸引確認





結 果

対象症例に行った，飲用茶を利用した
確認法により，交換を行った全例において
確認が可能であった。

飲用茶は在宅でも容易に入手が可能で
あり，交換時に瘻孔から漏出しても着衣の
汚染は最小限に抑えられた。



結 論

今回行った、
飲用茶を利用した確認法を用いれば、
医療機関への受診を行うことなく、
簡便で確実な確認が可能であり、
開業医師による在宅胃瘻管理を行う上で、
有用な方法であるものと考えます。